

天候を意識した作業が続く

内容では通行車両の視界を雑草が遮るため、雑草の草刈を実施(写真上中)。工事関係者は、近隣住民の皆様に対し常にこのような配慮を心掛けている。この内容の現場では、付け替え道路の大型ブロック工事が本格化してきた(写真上右)。ドン谷では上空の線に配慮しながらの施工が続く(写真中左)。完成まではあと一頑張りだ。

大谷川では工事用道路が姿を現し(写真中右)、エノマ谷では副堰堤の床堀が完了した(写真下左)。

宇津志谷では、着実に本堰堤のリフトが上がっている(写真下右)。

天候と相談する日々が続く。現場作業者は、1日も早い梅雨明けを望んでいる。



参加者29人！ =6月期安全協議会=

現場の安全管理は、現場の最優先・最重要課題。1回/月の安全パトロールは外部の「目」を取り入れる大変重要な機会。

6月20日に行われた安全協議会では、大垣労働基準監督署の青木安全衛生課長をお招きし、身近で発生した労働災害事例の紹介や、墜落・転落災害防止のポイント、労働基準監督署監督官の見るべき視点などの講義をしていただいた。

今後も事故が発生しないことを切に祈る。



用地担当者と合同踏査を実施

架空線、埋設物、施工ヤード、用地・借地範囲、継続工事との取り合い…。現場担当者の考えるべき内容は多岐にわたる。全ての内容を発注前に把握・照査し、解決することは不可能かもしれない。

それでも課題を1つでも解決するため、用地担当者と合同調査を実施。用地担当者の見るべき視点、経験豊富な用地官の鋭い視点を目の当たりにして、私の現場を見る「目」が不足していたことを今一度痛感…。



夏が来る！！ ～魚道からの便り～

この日は砂防えん堤魚道の確認を実施していた。現場の担当者と魚道脇で打合せをしていたところ、私の背後から「ちゃぽんっ」と音がした。

何の音だろうと観察していると、魚類が魚道を遡上する音だった。よく見ると魚道内にはたくさんの魚類が遡上するための準備している。

梅雨空の合間の出来事であったが、夏はすぐそこまで来ている。

